

第16回 TCF エンデューロ

主催・主管：東京都自転車競技連盟

2025年12月28日（日）動車安全運転センター 安全運転中央研修所

特設コース（4.9km/周）

大会特別規則

- ① 参加者は受付の後、必ずコースを試走して下さい。最低1周回の試走を義務化します。11時20分～11時50分（コースインは11：40分まで）
- ② 参加者（チームの場合第1走者）はスタート10分前（11時50分）にスタート地点に集合して下さい。競技の説明・注意事項説明を行います。待機の選手も一緒にお聞き下さい。
- ③ スタートはローリングスタート。選手の隊列が整った段階で正規スタートとします。審判の指示に従ってください。計測時間はローリング開始から起算。
- ④ 基本的に、**走行レーンは走路左側とする。**追い越し選手は走路右側より安全に追抜いてください。
遅い選手は急な進路変更・速度変更をしないで、速い選手をやり過ごしてください。
- ⑤ メインストリート前では、ピットインする選手は右側、それ以外の選手は左側を走行して下さい。
- ⑥ チーム内の交代はピット内で**停車した状態で**計測チップ付きアンクルバンドの付け替えを行い、コース内に計測チップ付きアンクルバンド装着選手以外は入ることは出来ません。
- ⑦ 参加者は、試走時も含めて必ず日本自転車競技連盟公認のヘルメットを着用して下さい。
- ⑧ DHバー、スピナッチャ等のハンドルエクステンションバーは認めません。また、泥よけ・スタンド等は取り外して下さい。
- ⑨ **正式スタート以降の機材交換**については、他の参加者の競技に支障ないように注意して、ピット内のみ交換を認めます。
- ⑩ ピット内であれば他のチームとの機材及び補給食等の互いの提供が可能です。
- ⑪ ピットロードの閉鎖、ライダーチェンジの制約、最低周回数などの設定はありません。最終周回まで選手交代を許可します。
ピットロードでは、徐行してください。ピットで飲食料を受取るだけの場合も必ず停止して下さい。（違反した場合ペナルティを与えます。）
ピット以外での飲食料の補給は認めません。ピット内のみでお願い致します。
飲食物等の投棄は、禁止いたします。（違反した場合ペナルティを与えます。）



第16回 TCF エンデューロ

主催・主管：東京都自転車競技連盟

2025年12月28日（日）動車安全運転センター 安全運転中央研修所

特設コース（4.9km/周）

- ⑫ 検査は実施しませんが、各自の責任において整備を行い、競技規則違反にならないようにして下さい。
- ⑬ ウエア等の走行中の服装及び装着物は安全と認められるものであれば全て許可します。
- ⑭ 危険行為に対しては厳しく対処、各自、事故防止に最大限の努力をして下さい。安全を阻害する行為はペナルティー及び降格、失格となることがあります。
- ⑮ リザルトについては、後日東京都自転車競技連盟ホームページで掲出いたします。
- ⑯ スタート後、3時間経過時点でレースを終了します。3時間完了前、最後にフィニッシュラインを通過した完了周回を各自の「周回数」とし、その数により順位を決定します。なお同一周回の場合は完了周回の着順によります。
3時間を越えて次の周回に入ることはできません。

ペナルティー一覧

■ピットロードを徐行しなかった	→ 1分の Time Penalty
■ピットロード以外での機材交換	→ 2分の Time Penalty
■ピットロード以外での飲食料の補給	→ 2分の Time Penalty
■飲食料等のピットロード以外での投棄	→ 1分の Time Penalty
■危険行為があった場合（安全阻害行為）	→ 2分の Time Penalty
■アンクルバンド外す際及び装着時時停車していない	→ 1分の Time Penalty

※Time Penaltyは各選手チームに告げたのちに直ちに科します。



第16回 TCF エンデューロ

主催・主管：東京都自転車競技連盟

2025年12月28日（日）動車安全運転センター 安全運転中央研修所

特設コース（4.9km/周）

ゼッケン取付方法



ボディナンバーは下記の通り取り付けること。

■安全ピンは主催者で用意します。

■ボディーナンバーは競技中、落下・ピンはずれのない様確実に取り付けられていること。

■ゼッケン5cmの間隔を設けること。

オンボードカメラ装着について

当大会はUCI 1.3.024 TERに定める申請許可された競技者へオンボードカメラの装着を認める。装着は決して脱落等の無いよう固定されなければならない。

取得された内容はスポーツのよい部分を知るものであり、決して特定の個人や団体を非難する道具として使用してはならない。当連盟はオンボードカメラ装着・撮影について起きた結果に責任がないものとする。肖像権等の問題も全ては撮影者に帰属する。

また、許可された者が撮影した映像等についての疑義及びSNSに掲載した際に発生したいかなる問題も当連盟は責任を負わない。

大会審判長

